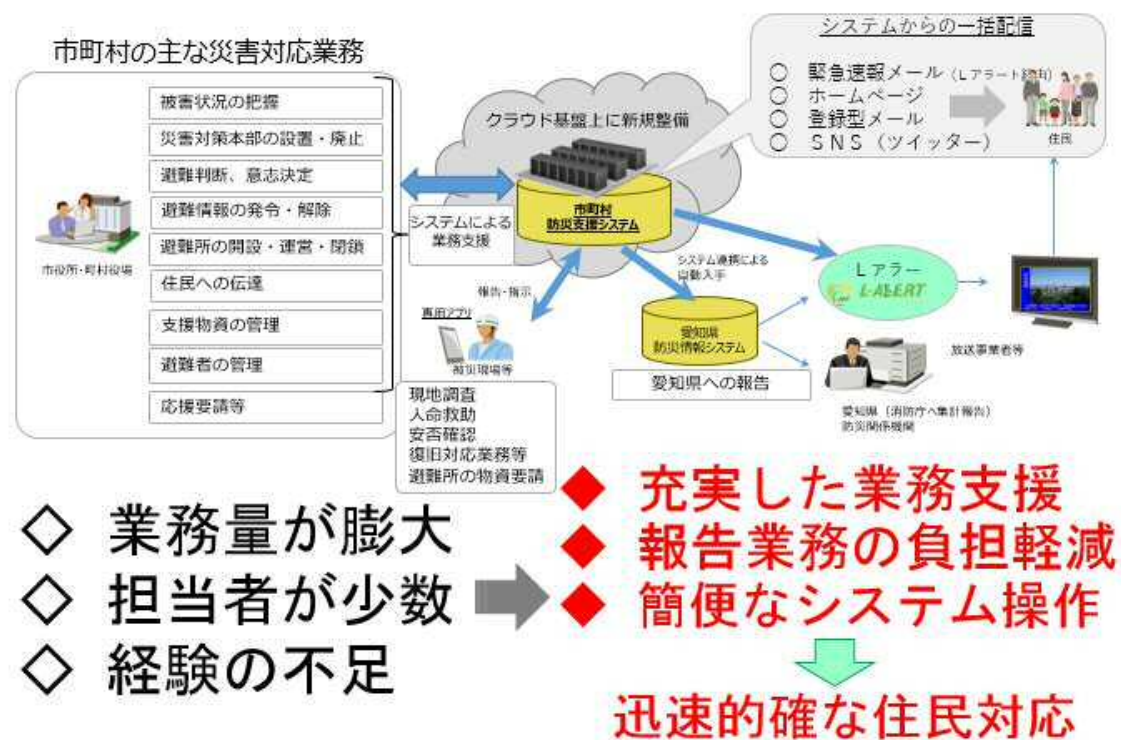


市町村防災支援システムについて

総務省「災害情報伝達手段等の高度化事業」において構築し、今年度の実証を行う市町村防災支援システム（以下「システム」という。）は、既存の愛知県防災情報システムと接続・連携する形で、クラウド基盤上に新規整備し、市町村の災害対応業務の支援を目的として構築するシステムであり、平成30年6月1日から運用を開始します。

1 システムの目指すところ

- 市町村の災害対応業務の省力化
- 市町村の避難判断プロセスの効率化
- 県への報告業務の負担軽減
- 一元管理による災害情報の収集漏れ・抜けの防止
- 住民への避難情報等の一括配信による業務の迅速化



2 市町村の災害対応業務を支援するシステム機能

市町村の主な災害対応業務	システム機能
被害状況の把握 (救命救助活動)	○ 被害概況・報告機能 ○ 地図機能
災害対策本部の設置・廃止	○ 体制状況・報告機能 (非常配備体制の登録管理を含む)
避難判断・意志決定	○ 避難勧告等発令機能 (防災情報ダッシュボード)
避難勧告等の発令・解除	○ 避難勧告等発令機能 ○ 地図機能
避難所の開設・運営・閉鎖	○ 避難所管理機能 ○ 地図機能
住民への伝達 (広報対応)	○ 広報支援機能 (お知らせ)
物資の要請・輸送・供給	○ 支援物資管理機能 ○ 地図機能
住民避難の状況	○ 避難者管理機能
県への被害報告	○ 自動連携により不要*

* 既設の愛知県防災情報システムへの被害報告の入力が不要